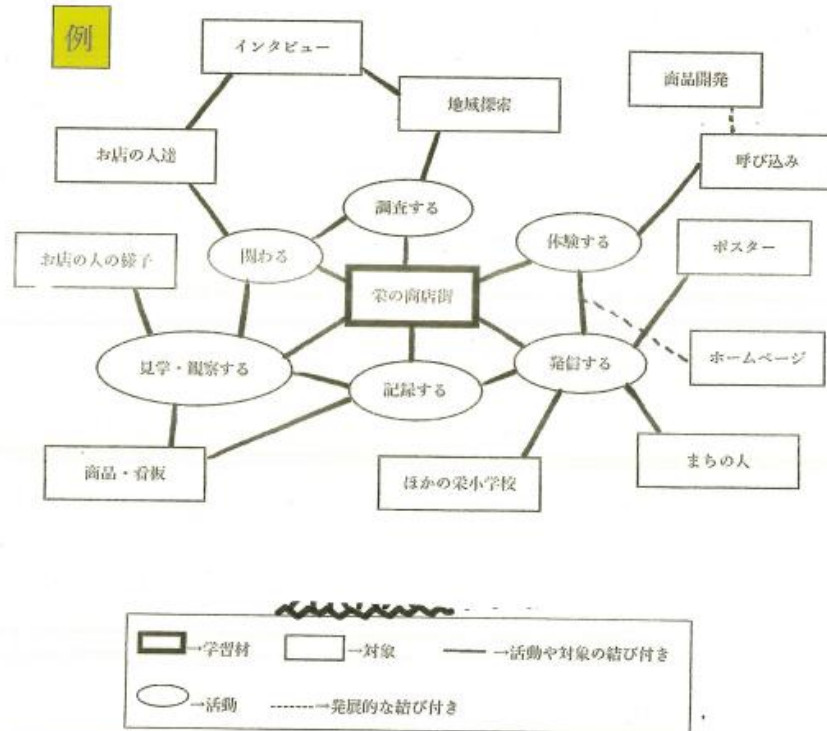


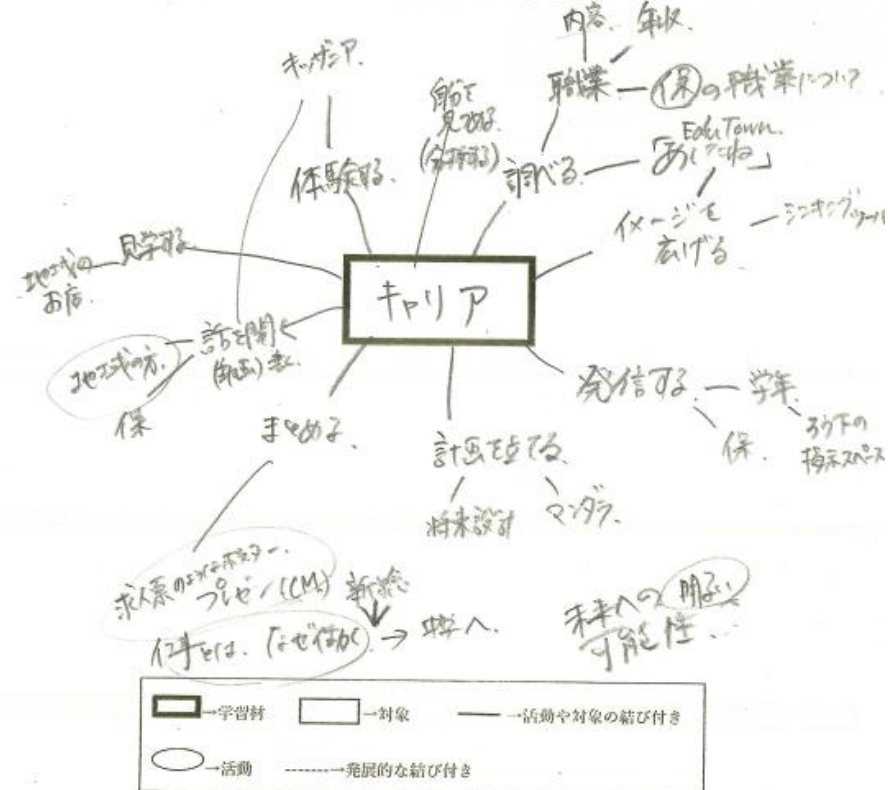
(6)第6学年 ①単元構想

③ウェビングをして、材としての広がりを感じてみましょう！（広がるものの方がよいです）
このまま単元構想（小単元づくり）として、活用することもできます。



- 【学習材選定のチェックポイント】
- 子供たちが本気で「やりたい」「解決したい」という思いや願いをもてるか
 - 達成感や成就感を味わうことができるものか
 - 身近にあって継続的に関わることができるものか
 - 学習材に対して熱い思いをもっている人と関わるができるか
 - 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」というスパイラルが向上できるか
 - 育成する資質・能力が図れるものか
- ※単元学習は、児童が主体的に関与した活動にふさわしい。児童力を伸ばす力を活用して、児童が主体的に関与する学習の場を創出する。
- 子供たちが気付きや疑問をもち、関連付いたり、概念が形成されたりするものか

③ウェビングをして、材としての広がりを感じてみましょう！（広がるものの方がよいです）
このまま単元構想（小単元づくり）として、活用することもできます。



- 【学習材選定のチェックポイント】
- 子供たちが本気で「やりたい」「解決したい」という思いや願いをもてるか
 - 達成感や成就感を味わうことができるものか
 - 身近にあって継続的に関わることができるものか
 - 学習材に対して熱い思いをもっている人と関わるができるか
 - 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」というスパイラルが向上できるか
 - 育成する資質・能力が図れるものか
- ※単元学習は、児童が主体的に関与した活動にふさわしい。児童力を伸ばす力を活用して、児童が主体的に関与する学習の場を創出する。
- 子供たちが気付きや疑問をもち、関連付いたり、概念が形成されたりするものか

子供たちの思い・願い
・将来の自分に活かせる調べ学習がほしい。
・なりたい自分に近づき、人生を楽しみたい。

教材観
・職業調べを通じて、**働く**とはどういうことか考えることができる。
・将来、中学校に向けて、**明確なイメージをモテ**ることができる。

教師の願い・手立て
・働く意義を広げ、社会をつくる一員としての素地を養わせたい。
・体験・インタビュー。
・未来への**明確な希望をもたせたい**。

【生活科】思いや願いをもつ→活動・行動する
→感じる・考える→まとめる・行なうする
(伝え合う)

【総合的な学習の時間】課題設定→情報収集
→整理・分析→まとめ・表現

ストーリー (ウェビングを基に子供たちの思考を想定して流れをつくっていきましょう)
小単元① **プロジェクト ~私の未来設計図~**
○小学校卒業後、どんな未来がまっているんだろう。
・卒業後の**進路**について、ウェビング。
・それについて、**調べたいこと**も挙げる。
・全体で共有・分類する。
○なぜ勉強し続けるんだろう。
・**“働く”**につなげる。
・調べたいことを整理する。
・近いより未来より、**将来のことの方が、調べることが多いこと**に気づかせる。
・職業、**働く**ことについて調べることにつなげる。
○**“働く”**ことについて、各自調べる。
・一番近くの社会人(親)に**働く意義**をきく。

・働くことについて、**関心のあること**を調べる。……あ、ね、13歳のハローワーク
・職業家の講義

②さらに職業、働くことについて知ることが多い人はどんな活動が得意だろうか。

○これまでの成果、今後の計画を成果物とする。(レポート)

小単元②

○もともと自分の将来に近づこう

・計画に沿って。(計画にならなくても)

職業について調べる活動(進める。
(新卒、どのコラボ、インタビューなど。))

小単元③

○中学校について疑問を解決しよう。

三中とのコラボ

中学校見学

バスの解消

希望をもち、卒業式を迎える

→中学校へ

【単元構想のチェックポイント】

- ☐ 子供たちの思いや願いを中心に単元が練られているか
 - ☐ 子供たちにとって、身近で繰り返し関わることで価値が広がる対象(材)になっているか
 - ☐ 学習材に対して、関わりが期待できる「ひと」が考えられているか
 - ☐ 子供たちにとって学ぶべき意味・価値のある内容が分析されているか
 - ☐ 縦のつながり(グランドデザイン)や横のつながり(単元配列表)が双方向に発揮されているか
 - ☐ 小単元のつなぎ目がスムーズに行えるようになっているか
 - ☐ 以下の目指す児童像に向かえるような構想となっているか
- ①「必要感・切実感をもつ子」
 - ・子供たちが行動や実践から単元の学習を始めれば、興味関心が高まり「!」(気付き)や「?」(疑問)を自ら見付けにいき本気の課題をもつだろう。
 - ②「主体的に学ぶ子」
 - ・自分が見つけてきた!や?を学級で考えて向かう課題やめあてが決まれば安心感が生まれ、対話的になったり、没頭して取り組んだりして主体的に解決に向かえるだろう。
 - ③「自分の生き方に活かす子」
 - ・生活科や総合的な学習の時間を通して、社会や自然の一員として既習事項や他教科と合科化しながら何をどのようにしていくか考えたり、自分にとって学ぶことの意味や価値を考えたりしながら、自己の生き方の糧とするだろう。

